

ひょうたんいけ

桜台小 学校だより
令和4年6月24日
第16号



アサガオのつるが伸び始め、支柱が必要となったので、先日、1年生は自分の植木鉢に支柱を立てていきました。その日の帰りには、写真のように植木鉢どうしの間隔があげられて児童玄関の前に並べられていました。きっと、アサガオのつるがどんどん伸びていくので、自分の植木鉢から隣の植木鉢へと伸びていかないようにしたのでしょう。



コロナ禍で、アサガオもソーシャルディスタンスの対策を取っているようでした。

※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子をカラーで紹介しています。



登校指導、お世話になりました。

6月13日(月)に朝の登校指導がありました。「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆さんに、子どもたちの登校の様子を見守っていただきました。「PTA地区委員」の皆さんからは、登校指導ごとに子どもたちの様子や気が付かれたことなどをあげてもらっています。その中から、紙面を借りていくつかを紹介します。

- 交差点での安全確認をする様子が先月よりも増えて安心しました。車が登校班を通り過ぎる時に広がったままの班があって、運転手の方が困った様子をされていたので、道路端によってほしいと思いました。
- 班長が先頭、副班長が一番後ろで列を乱さず、登校できていました。あいさつができていたのは、班長と副班長だけでした。
- 班長が後ろを見て、後ろの子たちや列を確認している姿がとてもよかったです。
- 工事車両や通勤車両、通学の自転車等が多く行き交っていましたが、登校班に1人、大人の方がついてみえたので、安心だと思いました。
- 集合場所に集まるのが少し遅れていましたが、少し足を速めて時間に間に合うように上級生の子が上手にリードしてくれていました。週始めて荷物(タブレットなど)が多く、大変そうでした。
- 横断歩道を歩いていますが、渡る前にしっかり止まって、左右確認できたらもっと安全かなあとと思いました。
- もう少し元気よくあいさつしてほしいと感じました。少し声が小さくあいさつができていない子もいました。
- 見守り会の方々は何人もいて、子どもたちに声をかけてもらっていたので、とても安心感がありました。
- 止まってくれている車にも頭を下げて、素早く渡れていてすごいなあと思いました。あいさつが自分から言える子もいて、朝から気持ちよかったです。



5月よりも良くなった点、悪くなった点、さまざまあるようです。「桜台小学校見守り会」や「PTA地区委員」の皆さんに、通学路の要所に立ってもらっていますが、最終的に『自分の命は自分で守る』ことが大切です。『いったん止まって左右を確認する』『横断歩道は手をあげて渡る』ことをこれからも意識してやってほしいと思います。あいさつも相手の目を見て元気よく行うと気持ちいいものです。がんばってやってみましょう。

桜中学校生徒の職場体験がありました。

6月21日(火)~23日(木)までの3日間、桜中学校の2年生3名が職場体験のため、桜台小学校へとやってきました。4年生、5年生を中心に、1年生の学級にも入ってもらいました。今回の体験生徒の中には、「将来は小学校の先生になりたい」という夢を持っている人もいます。学級では、子どもたちがやった宿題の点検をしたり、プリントの○付けをしたり、一緒に工作物を作ったり、学習支援をしてくれたり、と一生懸命かかわってくれました。22日(水)の3限目には『ようこそ先輩』として、3人を6年生の総合的な学習の時間に招き、中学校生活について語ってもらいました。部活動や専門委員会の種類や数、授業の様子、中間・期末テストの持ち方、通学路や下校時刻などについて語ってもらい、6年生からたくさんの質問を受けていました。来年度は中学校で一緒になる6年生にとって、また、今回職場体験を行った3人にとって、普段の学校生活では、なかなか体験のできない貴重な時間になったことと思います。(文責 北住 昌文)

